

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2015年3月期 第3四半期 連結決算概況と通期見通し

2015年2月6日
オリンパス株式会社
取締役専務執行役員
グループ経営統括室長
竹内 康雄

2015年3月期 第3四半期 連結業績および事業概況

第3四半期決算のハイライト

第3四半期業績

医療事業が牽引し、大幅な営業増益を確保（リーマンショック以後、過去最高）

通期見通し

従来の年間計画を達成できる見込み

財務体質

自己資本比率が約39%に向上

2015年3月期 第3四半期実績 ①連結業績概況

- ① リーマンショック（2008年度）以降、3Q累計営業利益として最高となる621億円
- ② 3Q累計当期純利益は前期同期比 約5倍となる319億円
- ③ 四半期ベースでも、前年同期を上回る営業利益を確保

(単位：億円)	3Q累計 (4-12月)				3Q実績 (10-12月)		
	2014年3月期	2015年3月期	増減額	前年同期比	2014年3月期	2015年3月期	前年同期比
売上高	5,137	5,500	+363	+7%	1,798	1,950	+8%
販管費 (販管費率)	2,674 (52.1%)	2,884 (52.4%)	+209 (+0.3pt)	+8%	911 (50.6%)	1,014 (52.0%)	+11%
営業利益 (営業利益率)	499 (9.7%)	① 621 (11.3%)	+122 (+1.6pt)	+24%	214 (11.9%)	③ 236 (12.1%)	+11%
経常利益 (経常利益率)	341 (6.6%)	482 (8.8%)	+141 (+2.2pt)	+41%	172 (9.5%)	185 (9.5%)	+8%
当期純利益 (当期純利益率)	58 (1.1%)	② 319 (5.8%)	+261 (+4.7pt)	+446%	138 (7.7%)	96 (4.9%)	△30%
円/US\$	99円	107円	7円 (円安)				
円/Euro	132円	140円	8円 (円安)				
売上高への影響額	-	+276億円					
営業利益への影響額	-	+80億円					

2015年3月期 第3四半期実績 ②セグメント別概況

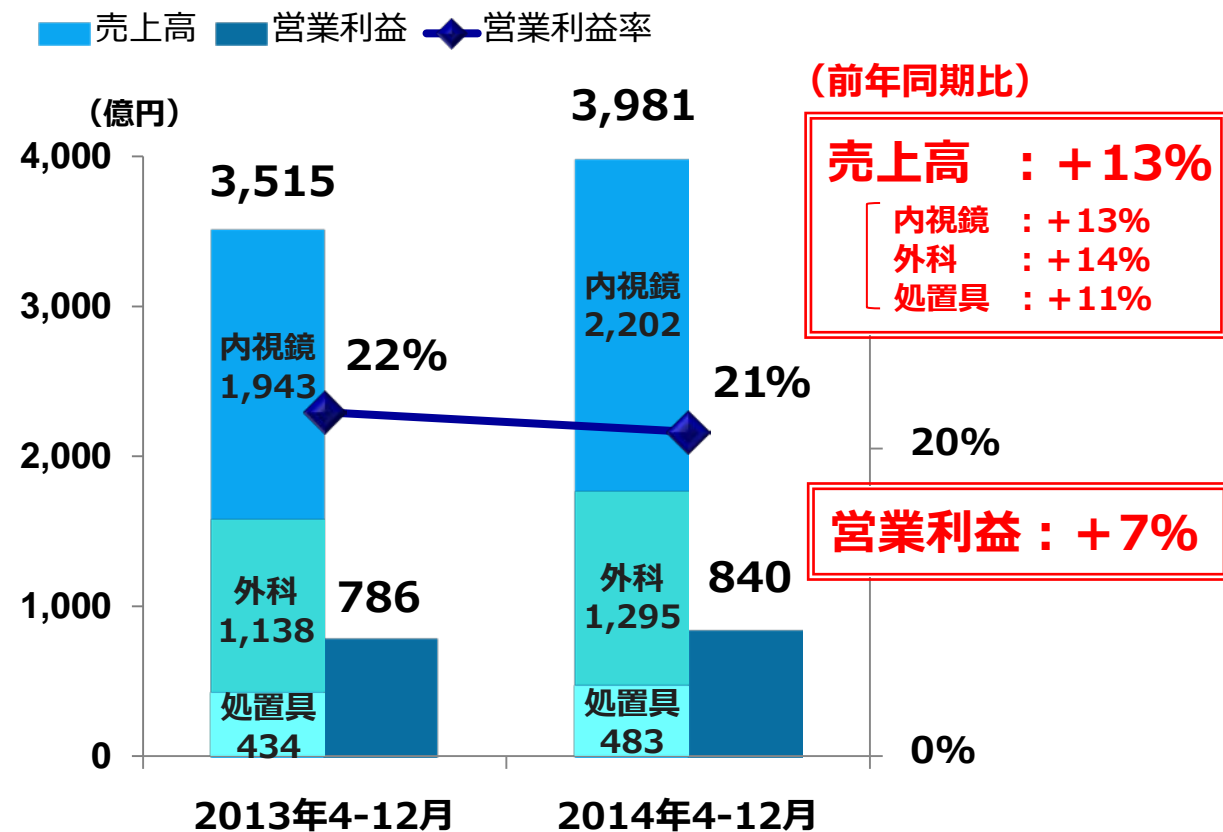
- ① 医療事業 : 売上高・営業利益ともに3Q累計として過去最高を更新し、全社業績を牽引
- ② 科学事業 : 北米において、ライフ・産業各分野が好調に推移し、増収増益
- ③ その他事業 : バイオロジクス事業からの撤退により黒字化

(単位：億円)		3Q累計 (4-12月)				3Q実績 (10-12月)			
		2014/3	2015/3	増減額	前年同期比	2014/3	2015/3	増減額	前年同期比
医療	売上高	3,515	① 3,981	+466	+13%	1,217	1,413	+197	+16%
	営業利益	786	840	+54	+7%	294	294	+0	+0%
科学	売上高	676	② 728	+52	+8%	236	261	+25	+11%
	営業利益	21	36	+15	+73%	15	23	+8	+53%
映像	売上高	750	643	△107	△14%	280	242	△38	△13%
	営業利益	△44	△62	△18	-	△17	△16	+1	-
その他	売上高	196	③ 148	△48	△24%	66	34	△33	△49%
	営業利益	△44	9	+53	-	△16	2	+17	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△220	△202	+18	-	△63	△66	△4	-
連結合計	売上高	5,137	5,500	+363	7%	1,798	1,950	+152	+8%
	営業利益	499	621	+122	+24%	214	236	+22	+11%

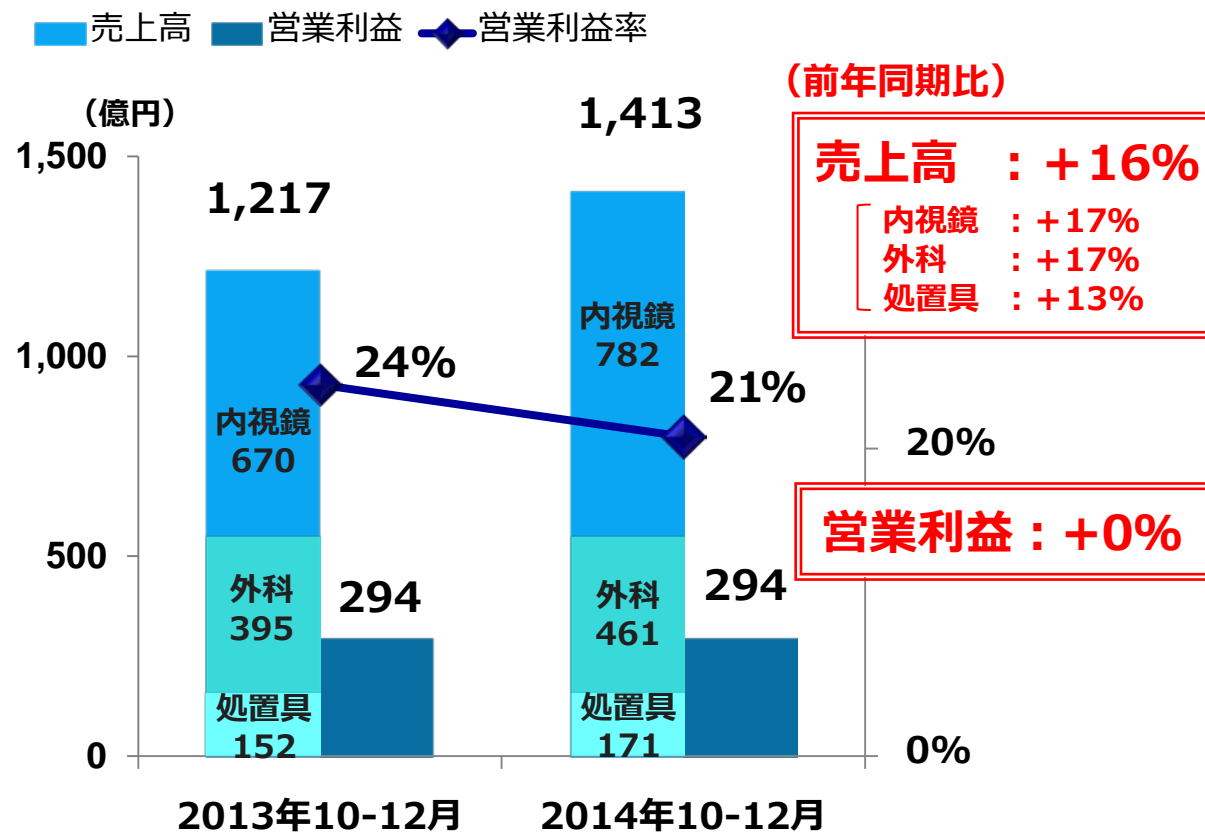
2015年3月期 第3四半期実績 ③医療事業

- ◆3分野すべて2桁成長し、3Q累計として過去最高の売上高、営業利益を計上
- ◆戦略投資も計画通りに進捗（要員強化進捗：年間1,000名増員目標に対して約90%の進捗）

3Q累計（4-12月）



3Q（10-12月）

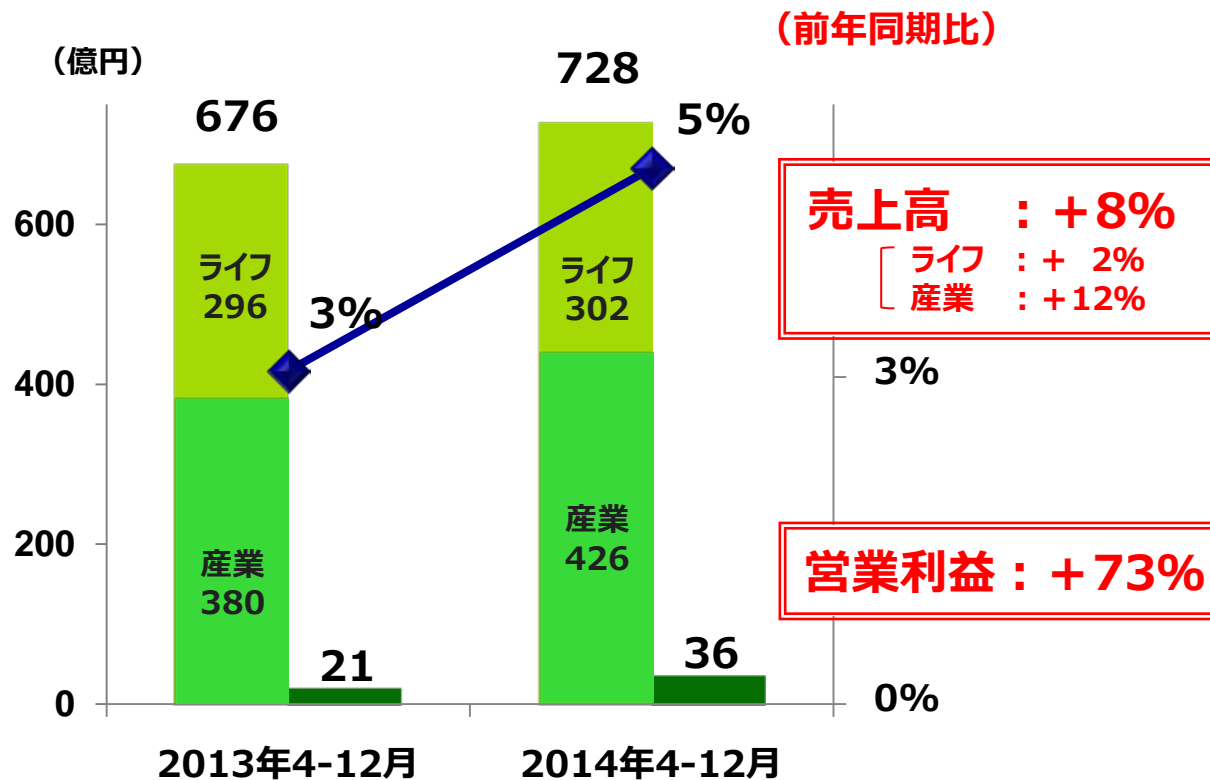


2015年3月期 第3四半期実績 ④科学事業

- ◆北米のライフ・産業各分野が好調に推移し、3Q・3Q累計共に増収増益を確保
- ◆戦略転換、構造改革によるコスト削減効果が徐々に顕在化し、利益率が改善

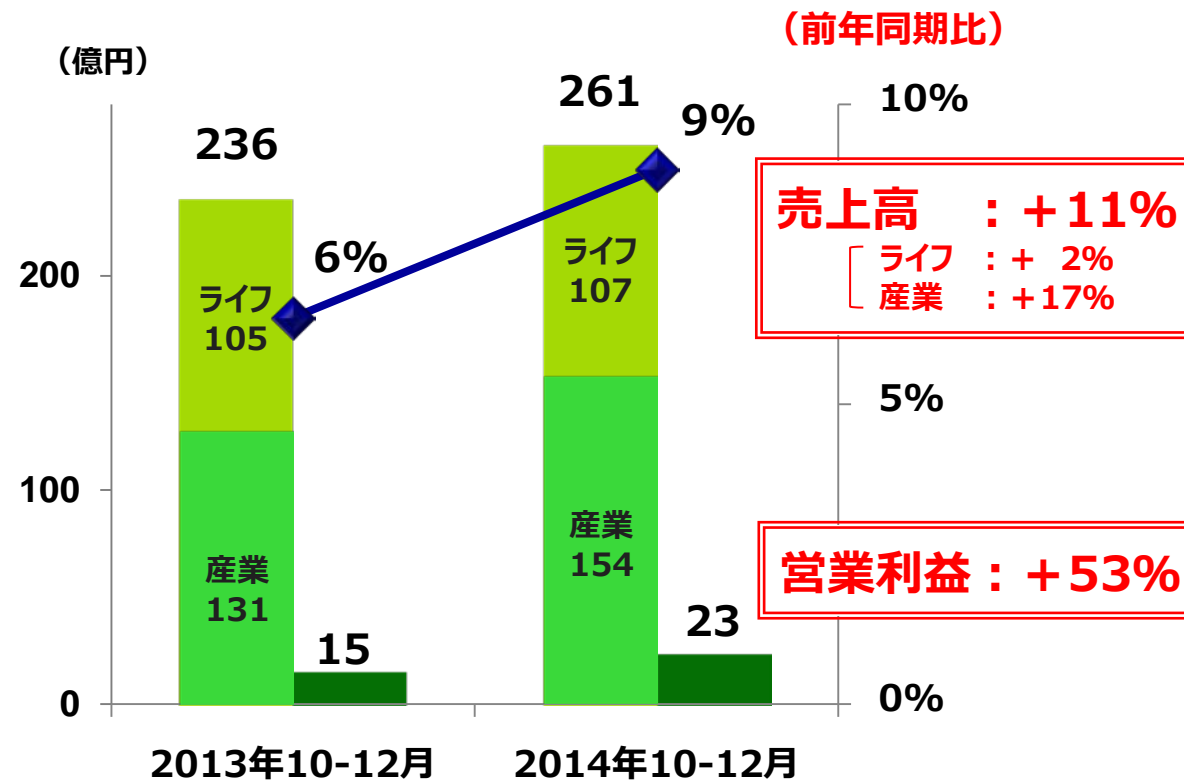
3Q累計 (4-12月)

売上高 営業利益 営業利益率



3Q (10-12月)

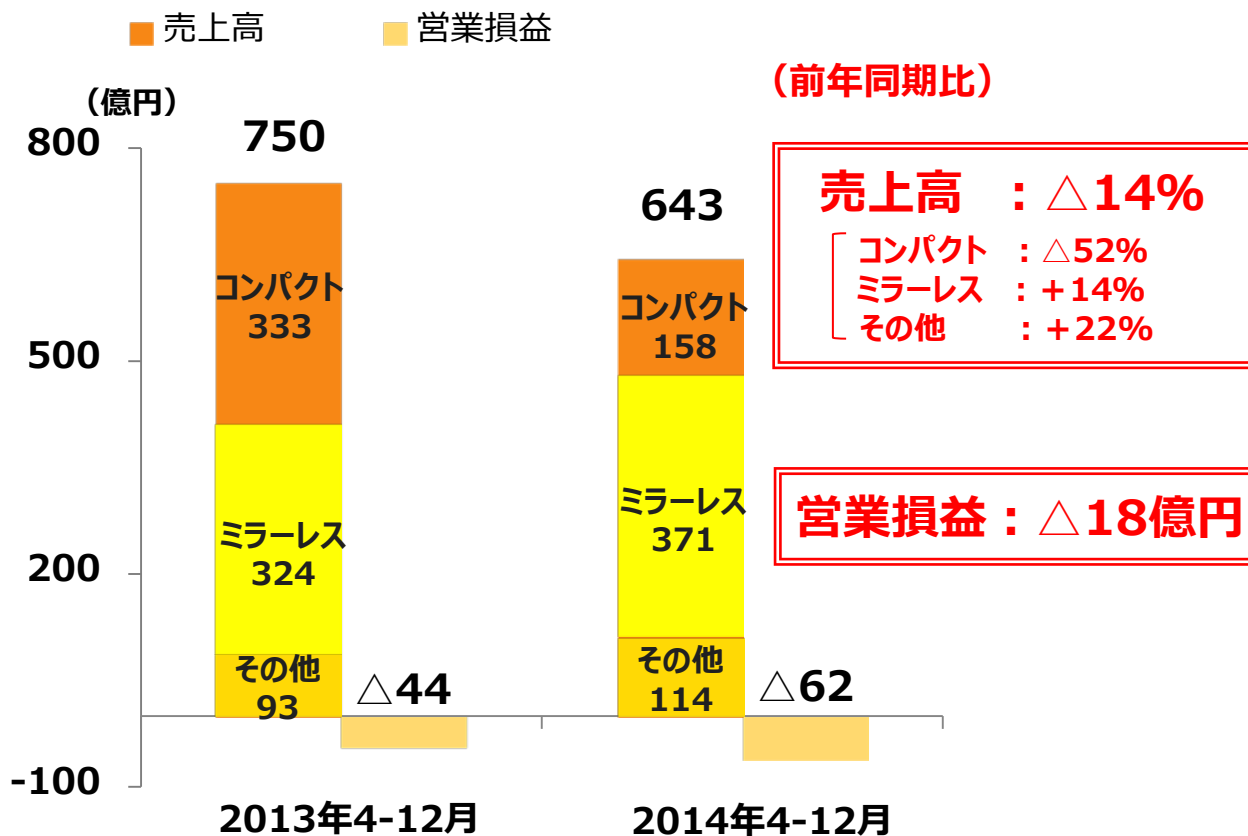
売上高 営業利益 営業利益率



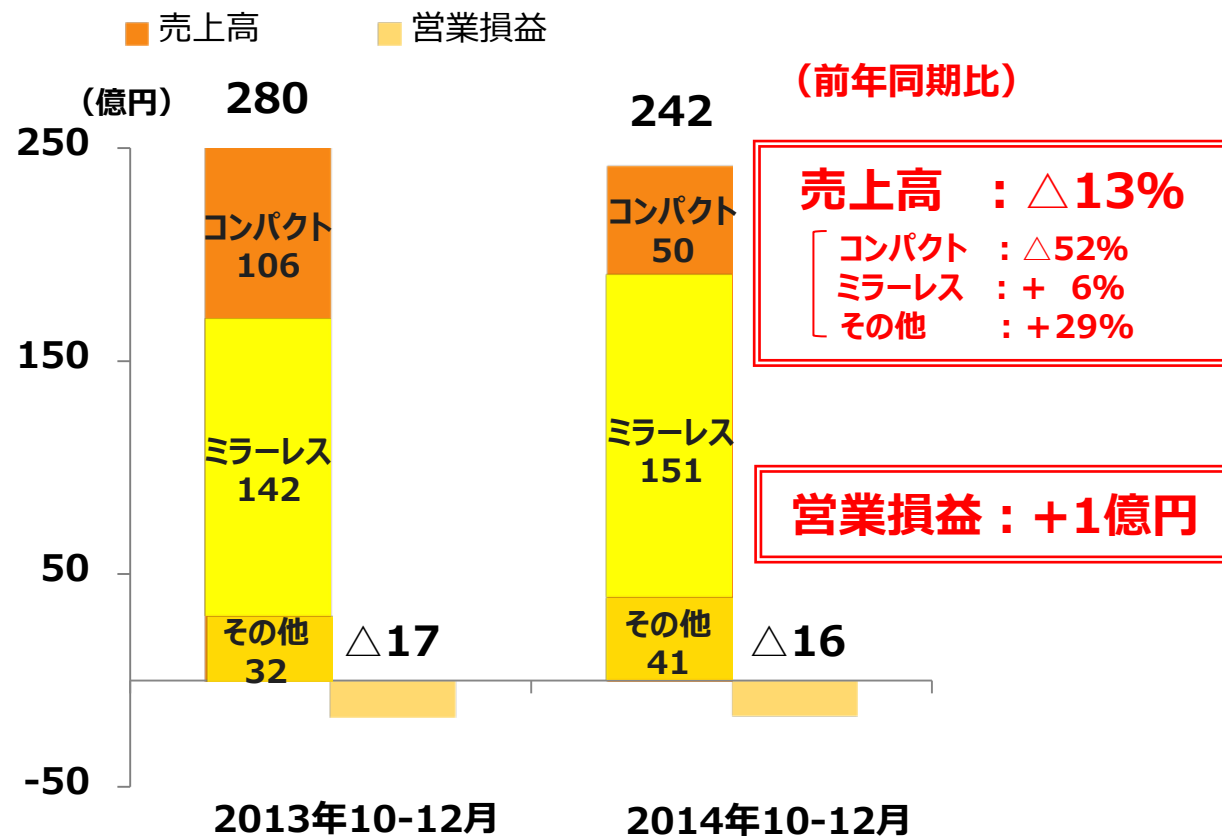
2015年3月期 第3四半期実績 ⑤映像事業- (1)

- ◆コンパクトの規模縮小により前期比14%減収も、ミラーレスの増収傾向は継続 (+14%)
- ◆ミラーレス及びB to Bの投資増加により営業損失は62億円

3Q累計 (4-12月)



3Q (10-12月)



2015年3月期 第3四半期実績 ⑤映像事業- (2)

◆ミラーレスの売上高が計画を下回り、営業損失は拡大

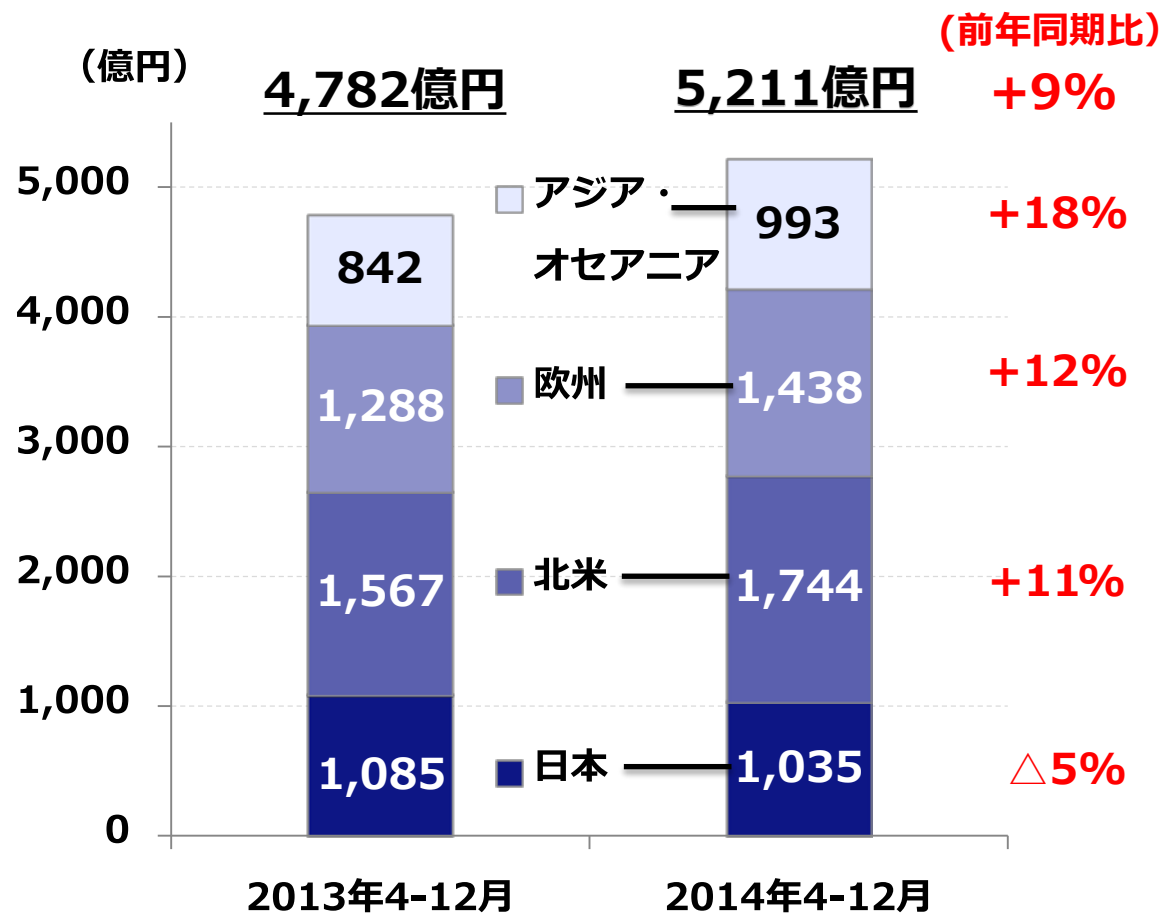
◆広告宣伝費等の削減により、3Q（10-12月期）の販管費率は下半期の見通しを上回る改善

(単位：億円)	3Q累計 (4-12月)			3Q実績 (10-12月)			【ご参考】 2015.3期下半期 (10-3月/見通し)
	2014.3期	2015.3期	増減額	2014.3期	2015.3期	増減額	
売上高	750	643	△107	280	242	△38	499
〔ミラーレス	324	371	+47	142	151	+8	327
〔コンパクト・その他	426	272	△154	137	91	△46	172
売上総利益	337	281	△56	116	99	△17	222
販管費	380	343	△38	133	115	△18	251
(販管費率)	(50.7%)	(53.3%)	(+2.6pt)	(47.5%)	(47.6%)	(+0.1pt)	(50.3%)
営業損益	△44	△62	△18	△17	△16	+1	△29

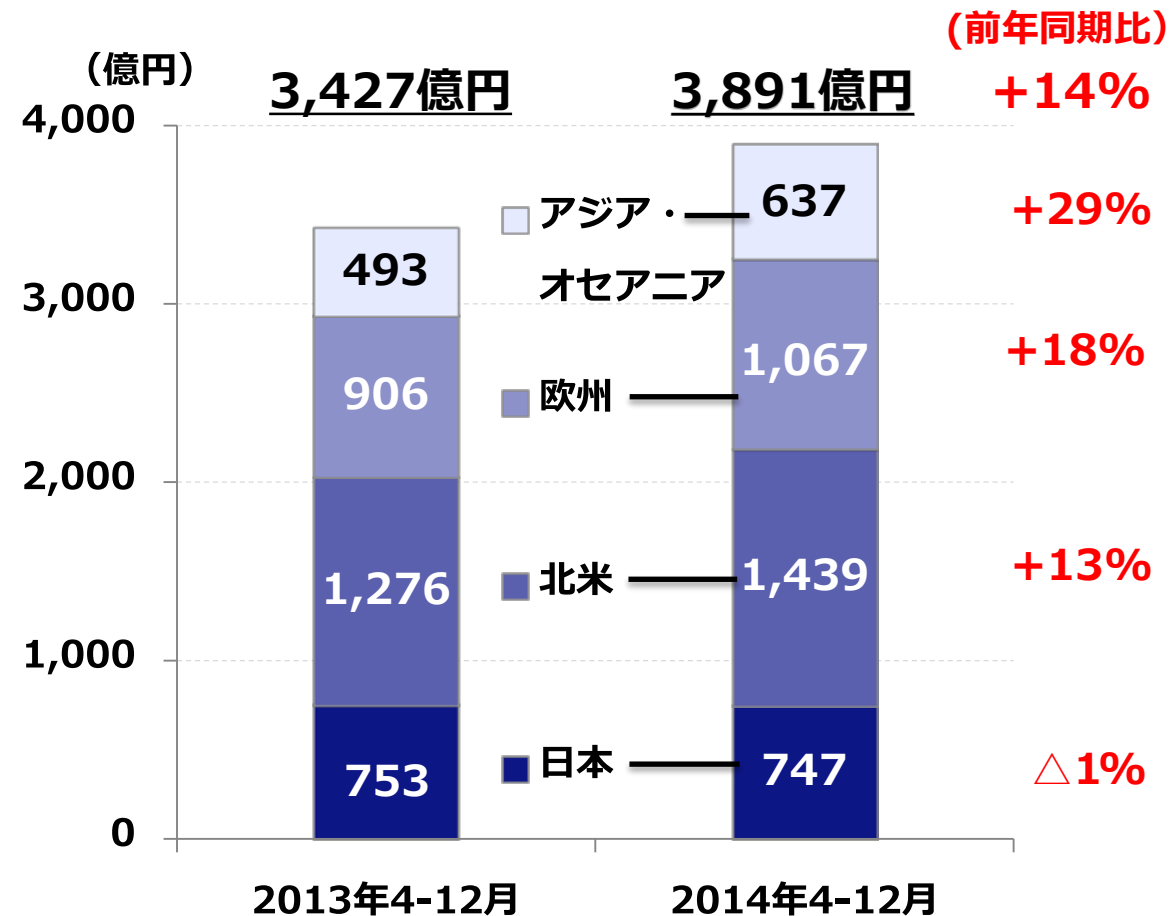
2015年3月期 第3四半期実績 ⑥地域別売上高

- ◆ 海外で好調な医療事業が牽引し、日本を除く全地域で増収
- ◆ 日本は解散総選挙の影響により、一時的に予算執行が停滞

連結 (4-12月)^(※)



医療 (4-12月)



2015年3月期 第3四半期実績 ⑦進捗状況（社内計画比）

医療

売上高

国内において解散総選挙による予算執行の遅れが見られたものの、北米、欧州、中国が堅調に推移し、全分野で計画を若干上回る実績

営業利益

戦略投資を進める外科で若干の未達となったものの、収益性の高い消化器内視鏡と処置具が好調に推移し、全体では計画を若干上回る実績

科学 (※)

売上高

国内のライフ分野が未達となったものの、市場の活性化によって北米が好調に推移し、全体では計画に沿った進捗

営業利益

売上高の達成に加えて、原価改善、販管費削減等により、計画を若干上回る進捗

映像

売上高

コンパクトは計画通りだったものの、ミラーレスの未達により、全体では計画下振れ

営業利益

原価の低減や販管費を削減したものの、ミラーレスの売上高の未達により、計画下振れ

連結貸借対照表 (2014年12月末)

- ◆ 財務体質はより一段と安定化 (自己資本比率 : 38.6% / 有利子負債 : 488億円圧縮)
- ◆ 課題は、ミラーレスを中心としたデジカメ在庫の圧縮

(単位 : 億円)	2014年 3月末	2014年 12月末	増減額		2014年 3月末	2014年 12月末	増減額
流動資産 (デジカメ在庫)	5,765 (217)	5,848 (292)	+83 (+75)	流動負債	2,763	2,945	+182
有形固定資産	1,354	1,510	+155	固定負債 (内 : 社債・長期借入金)	4,199 (3,468)	3,669 (2,854)	△530 (△614)
無形固定資産	1,736	1,873	+138	純資産	3,313	4,183	+870
投資その他資産	1,420	1,565	+146	(自己資本比率)	(32.1%)	(38.6%)	(+6.5pt)
資産合計	10,275	10,797	+522	負債 純資産 合計	10,275	10,797	+522

有利子負債 : 3,671億円 (2014年3月末比 △488 億円)
 純有利子負債 : 1,506億円 (2014年3月末比 △131 億円)

連結キャッシュフロー計算書（2014年4月～2014年12月）

(単位：億円)	2014年3月期3Q	2015年3月期3Q	増減
売上高	5,137	5,500	+363
営業利益	499	621	+122
(%)	9.7%	11.3%	+1.6pt
営業CF	438	358	△80
投資CF	△139	△215	△76
財務CF	△217	△577	△360
キャッシュフロー	82	△434	△516
フリーキャッシュフロー	299	142	△157
現金及び現金同等物期末残高	2,484	2,164	△320

減価償却費	261	299	+38
のれん償却額	70	69	△1
設備投資額	263	278	+15

2015年3月期 通期業績見通し

2015年3月期 通期業績見通し

◆ 連結ベースの進捗は予定通り、通期見通しは計画値を据え置き

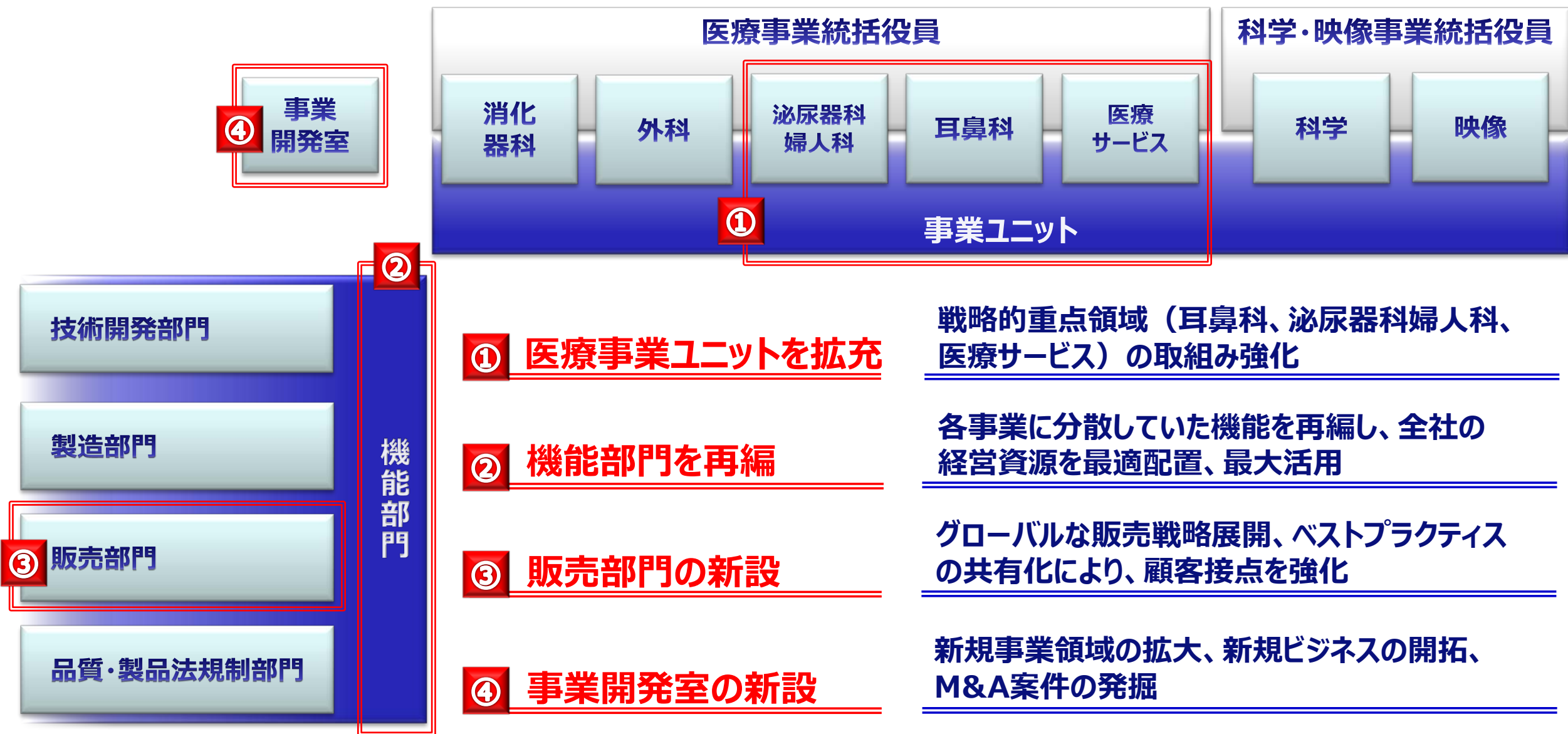
(単位：億円)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (見通し)	増減額	前期比
売上高	7,133	7,600	+467	+7%
営業利益 (営業利益率)	734 (10.3%)	880 (11.6%)	+146 (+1.3pt)	+20%
営業外収支	△225	△180	+45	-
経常利益 (経常利益率)	509 (7.1%)	700 (9.2%)	+191 (+2.1pt)	+38%
当期純利益 (当期純利益率)	136 (1.9%)	450 (5.9%)	+314 (+4.0pt)	+230%
円/US\$	100円	109円	9円 (円安)	
円/Euro	134円	139円	5円 (円安)	
売上高への影響額	-	+354億円		
営業利益への影響額	-	+123億円		

2015年3月期 セグメント別業績見通し

◆ 各セグメントも計画値を据え置き

(単位：億円)		2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (見通し)	前期比
医療	売上	4,923	5,480	+11%
	営業利益	1,127	1,185	+5%
科学	売上	985	1,040	+6%
	営業利益	49	50	+1%
映像	売上	961	900	△6%
	営業利益	△ 92	△ 75	-
その他	売上	264	180	△32%
	営業利益	△ 54	0	-
全社・消去	売上	-	-	-
	営業利益	△ 297	△ 280	-
連結合計	売上	7,133	7,600	+7%
	営業利益	734	880	+20%

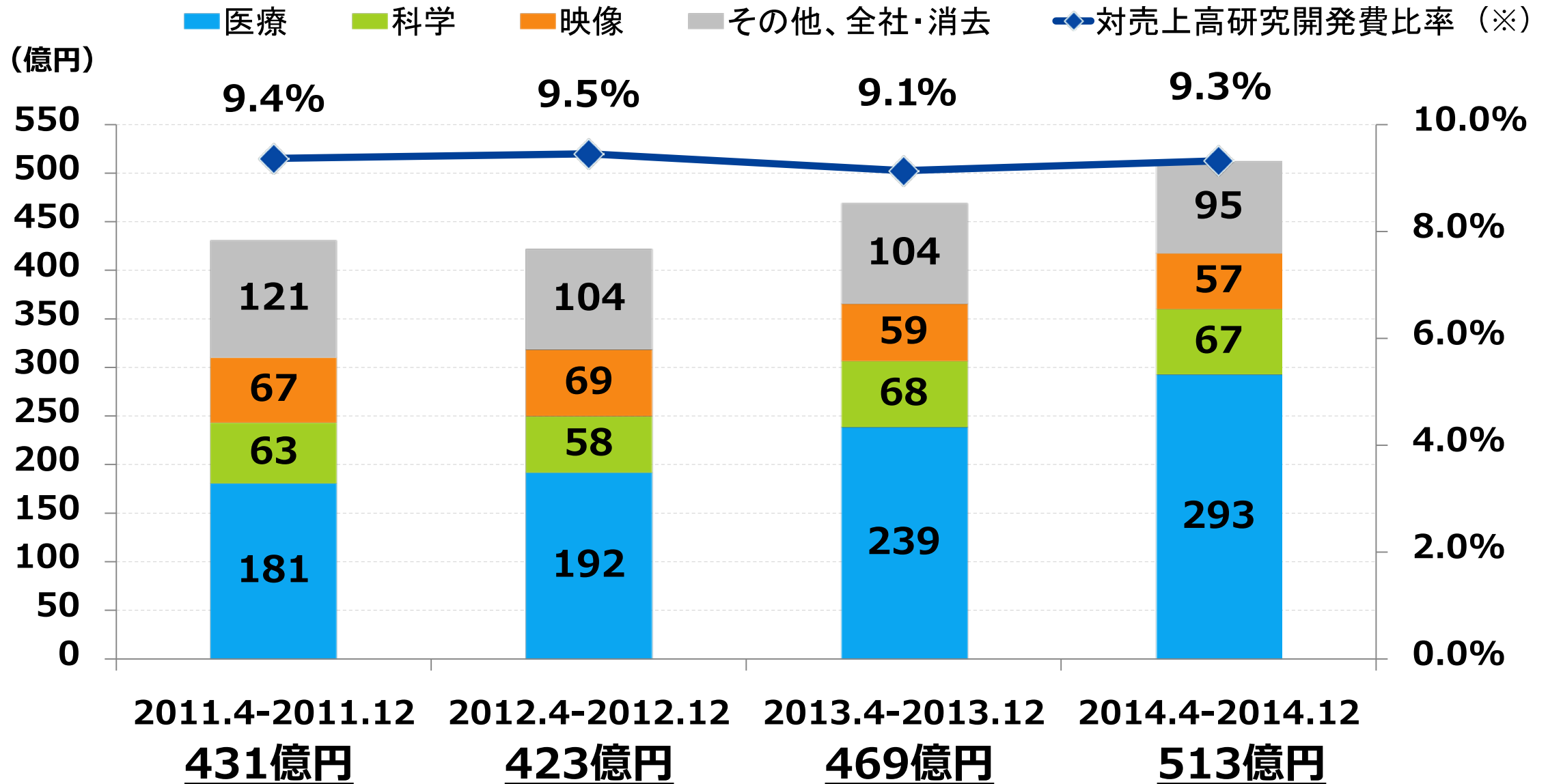
戦略的事業拡大実現に向けた経営体制強化



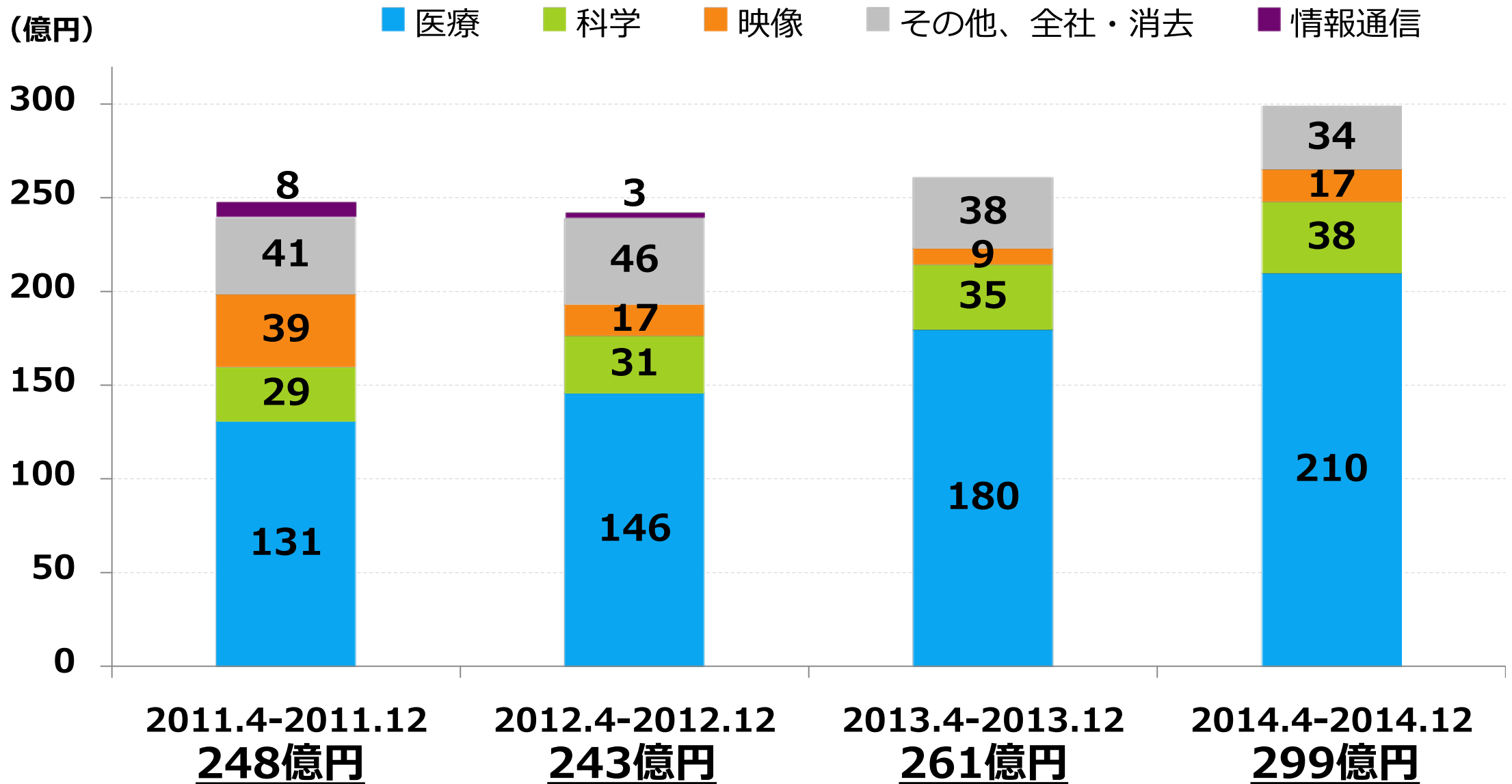
OLYMPUS

参考資料

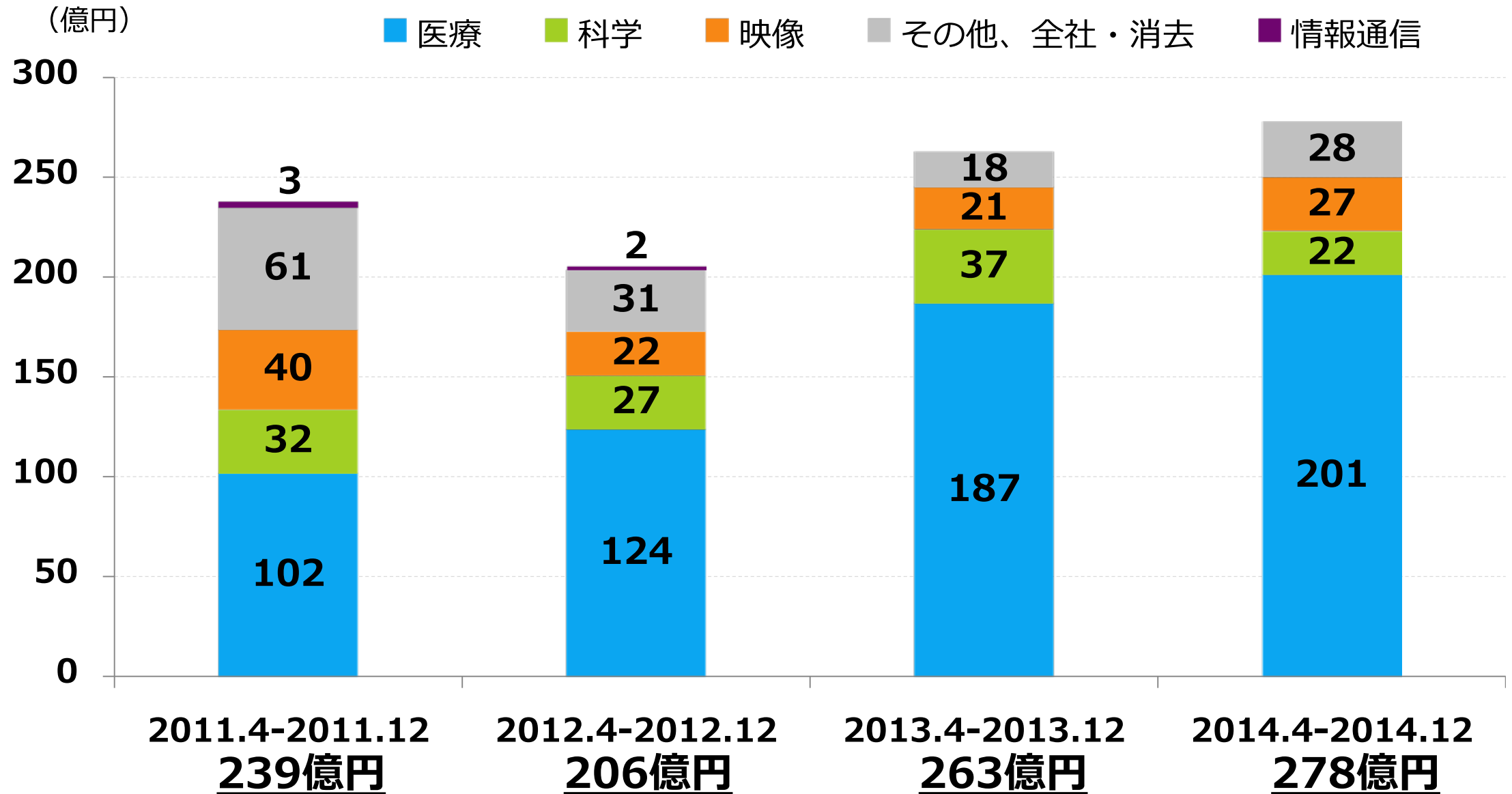
【参考資料】 研究開発費



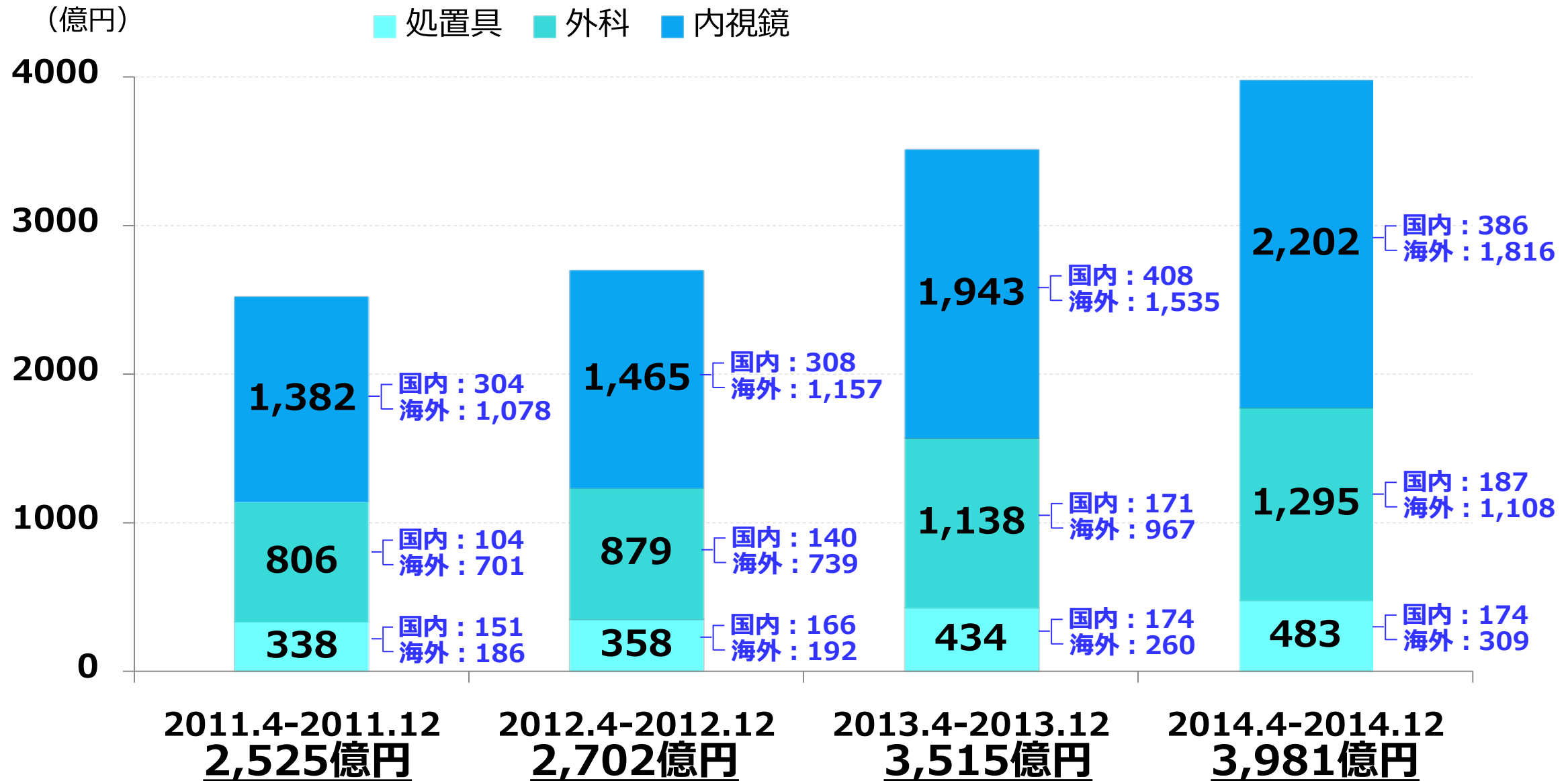
【参考資料】減価償却費



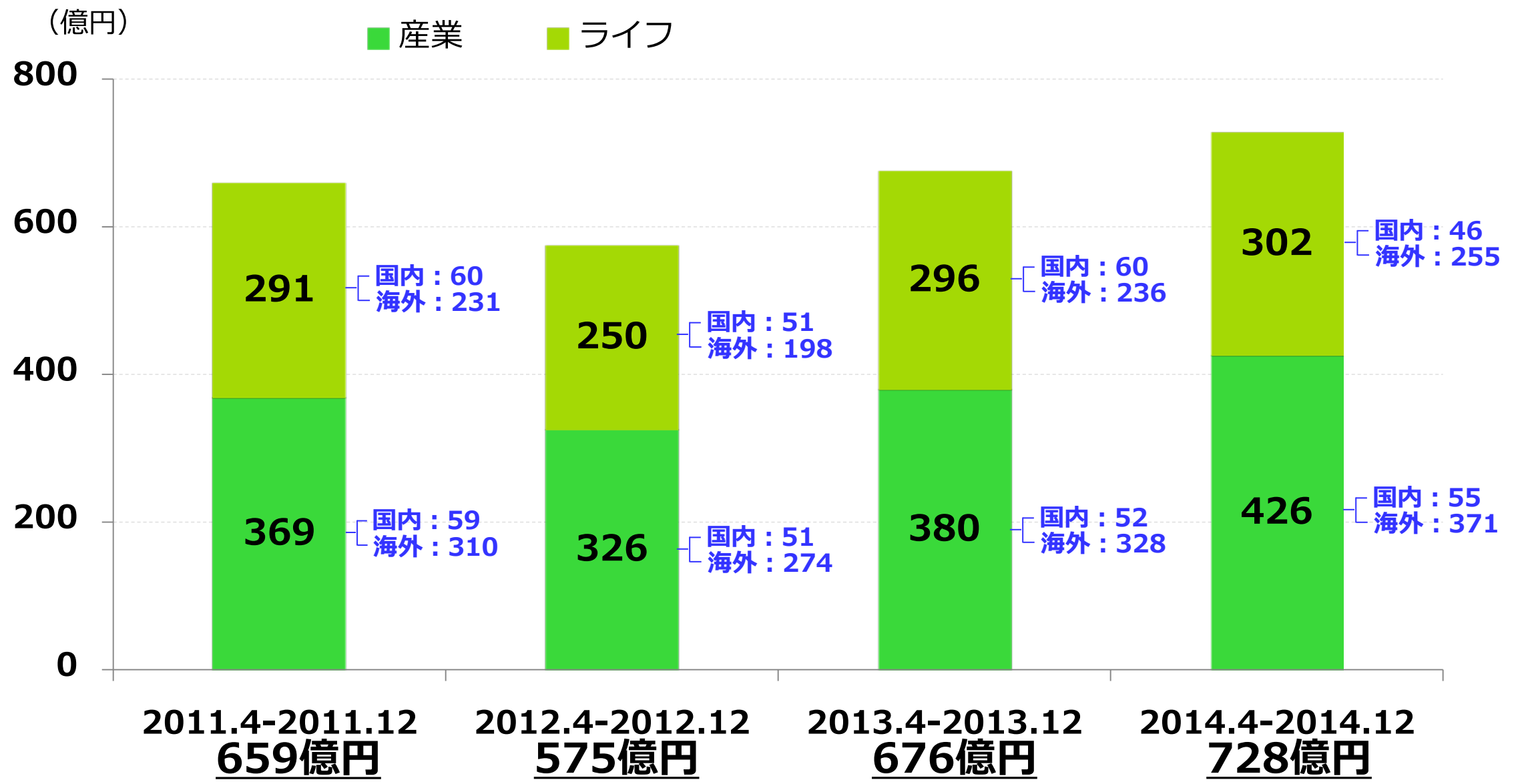
【参考資料】設備投資



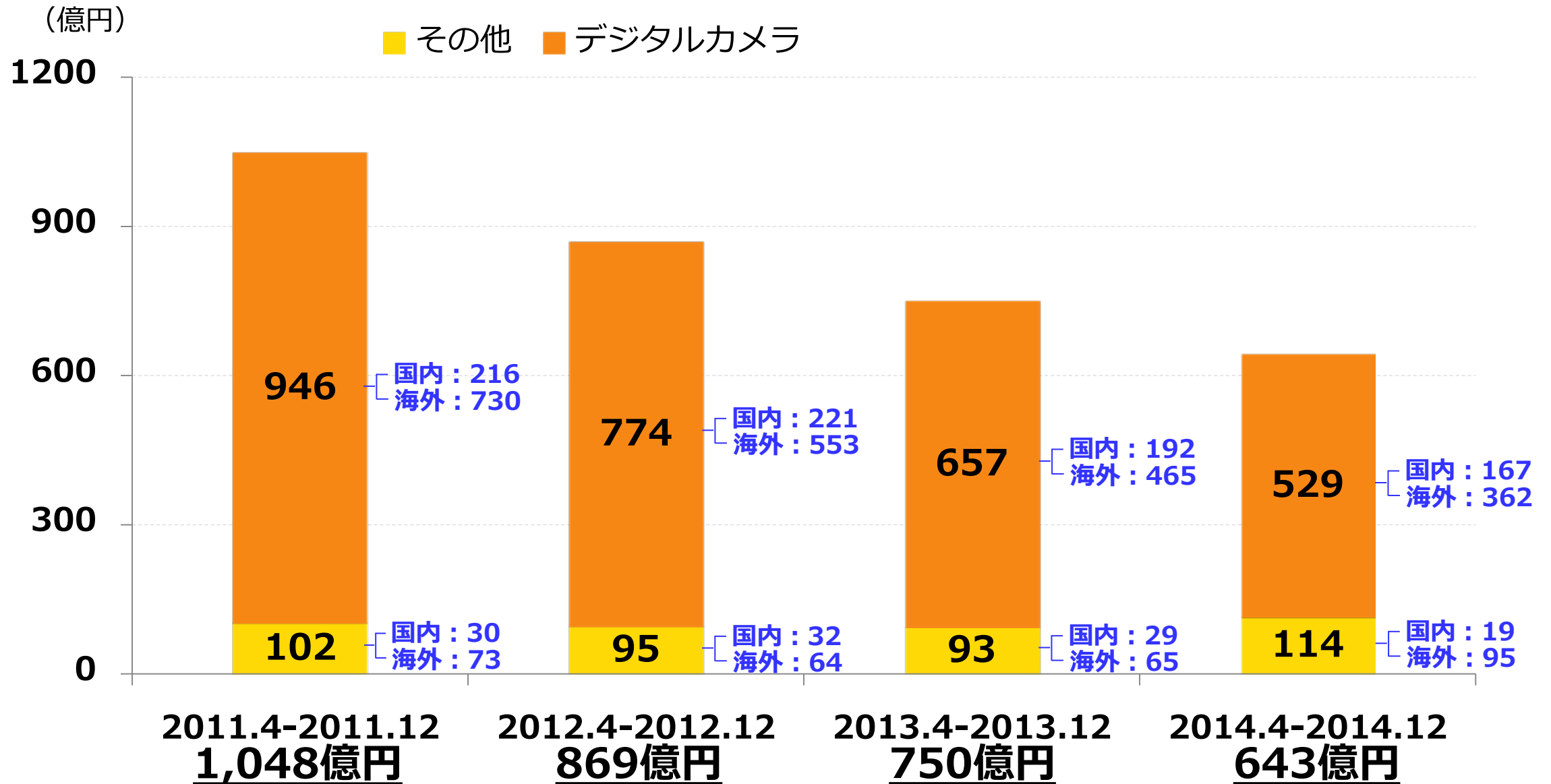
【参考資料】 分野別売上高 (医療)



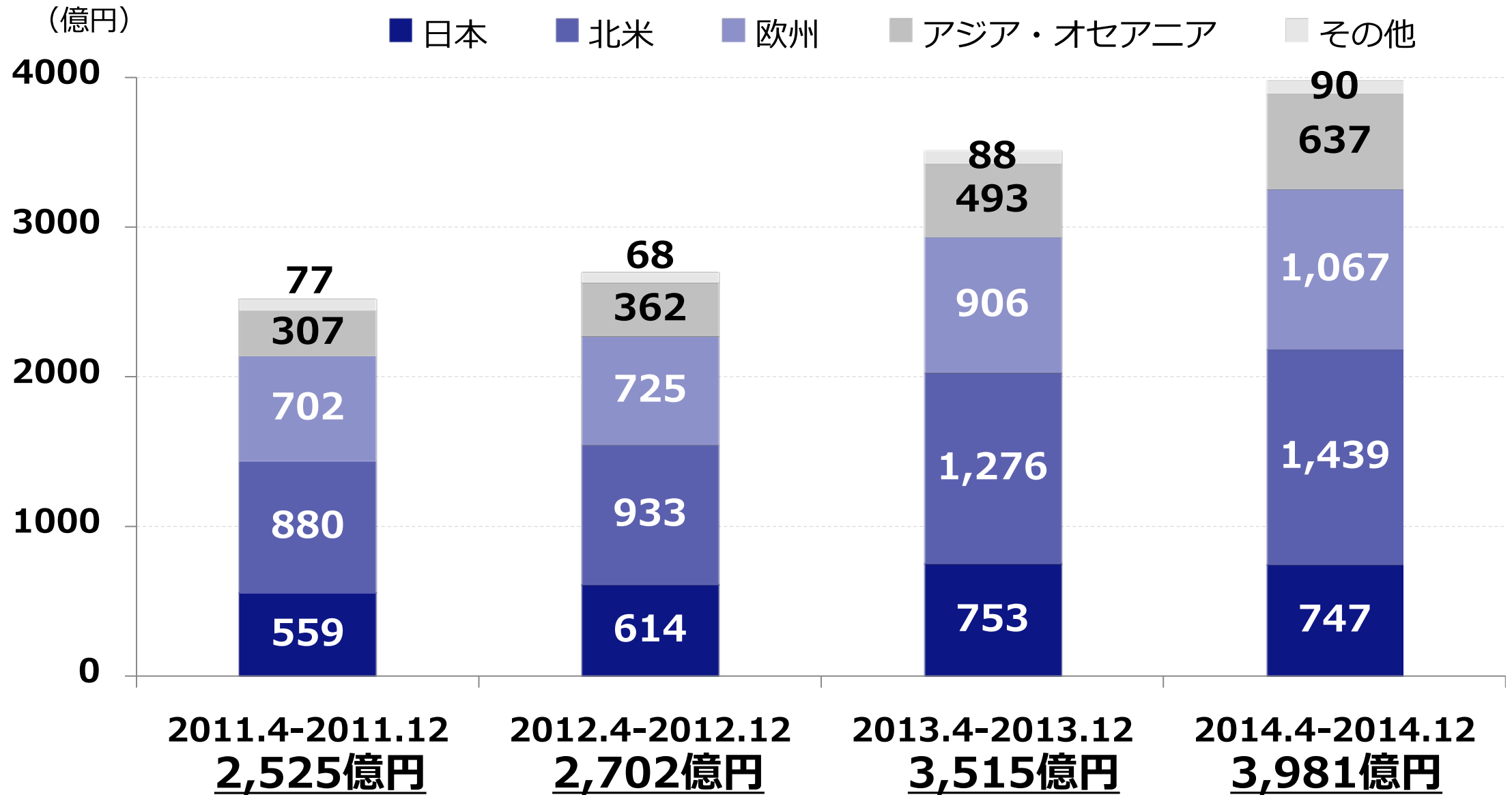
【参考資料】 分野別売上高 (科学)



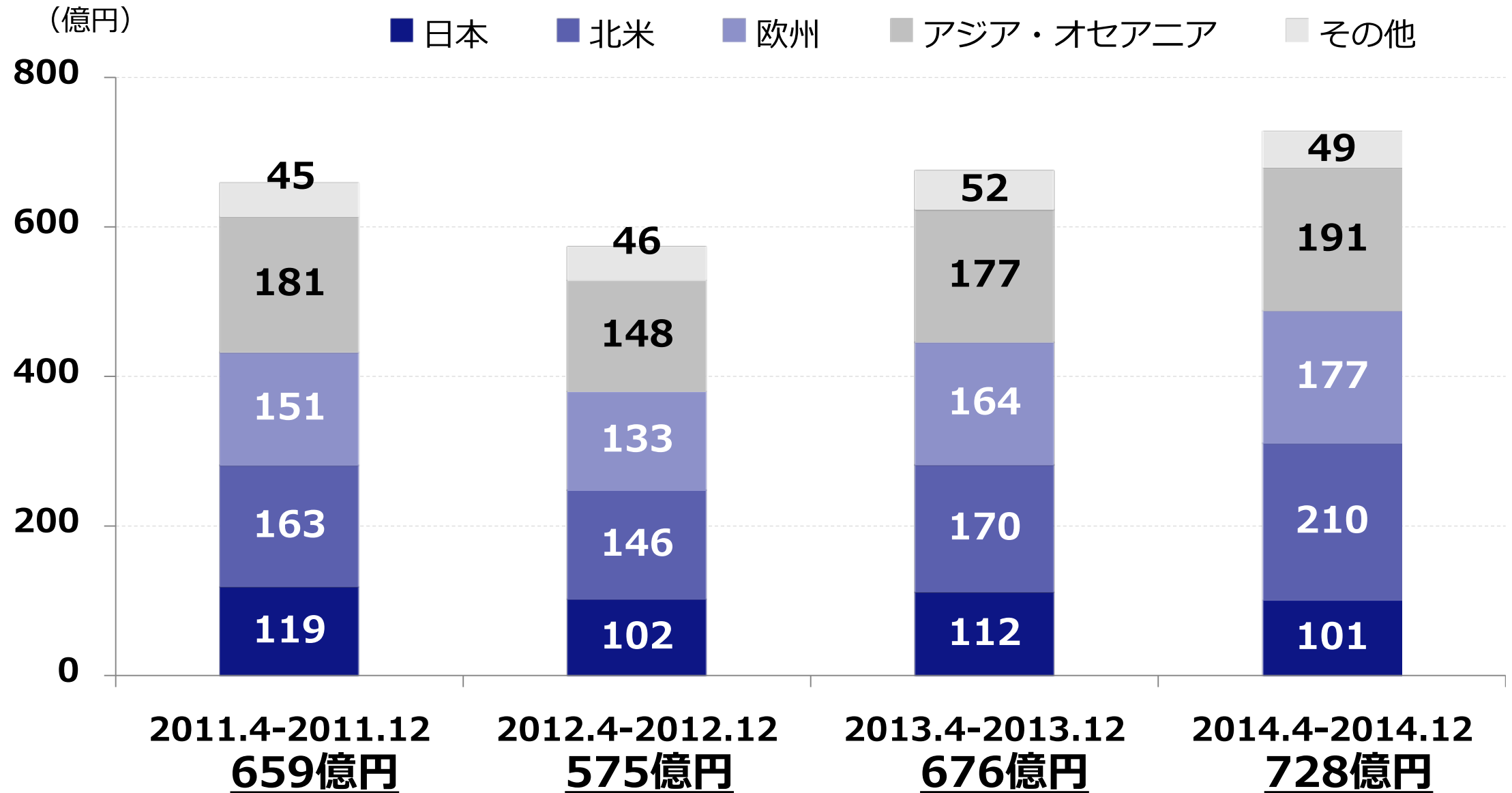
【参考資料】 分野別売上高 (映像)



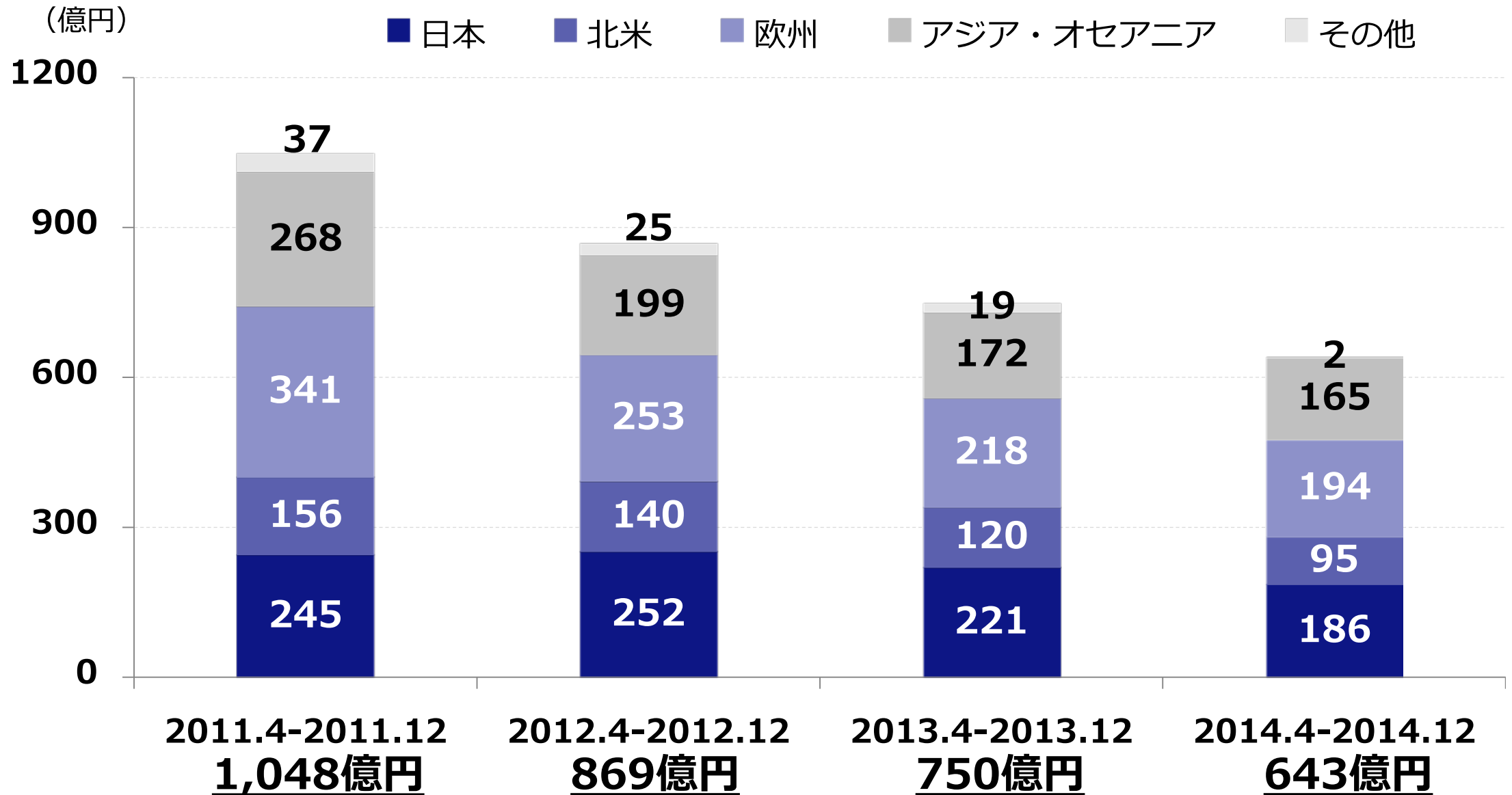
【参考資料】地域別売上高 (医療)



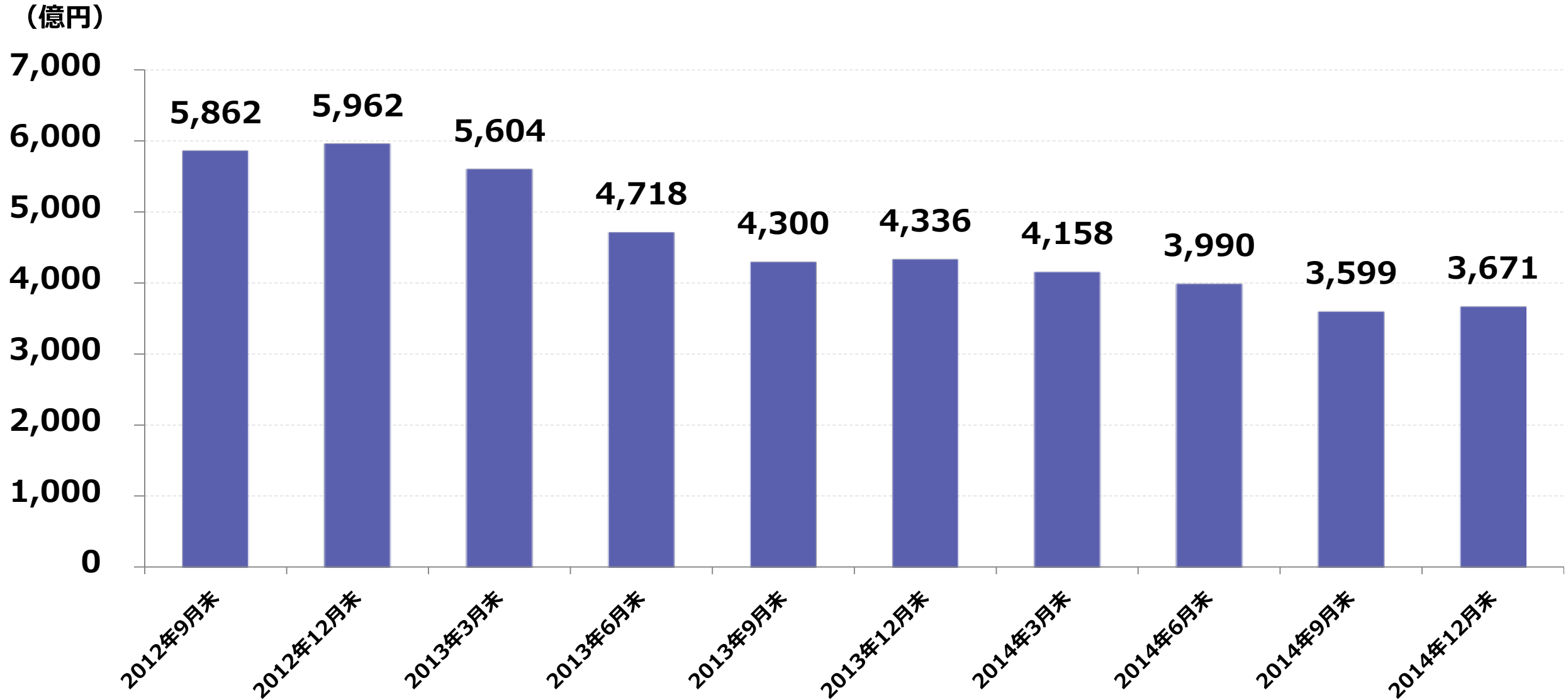
【参考資料】 地域別売上高 (科学)



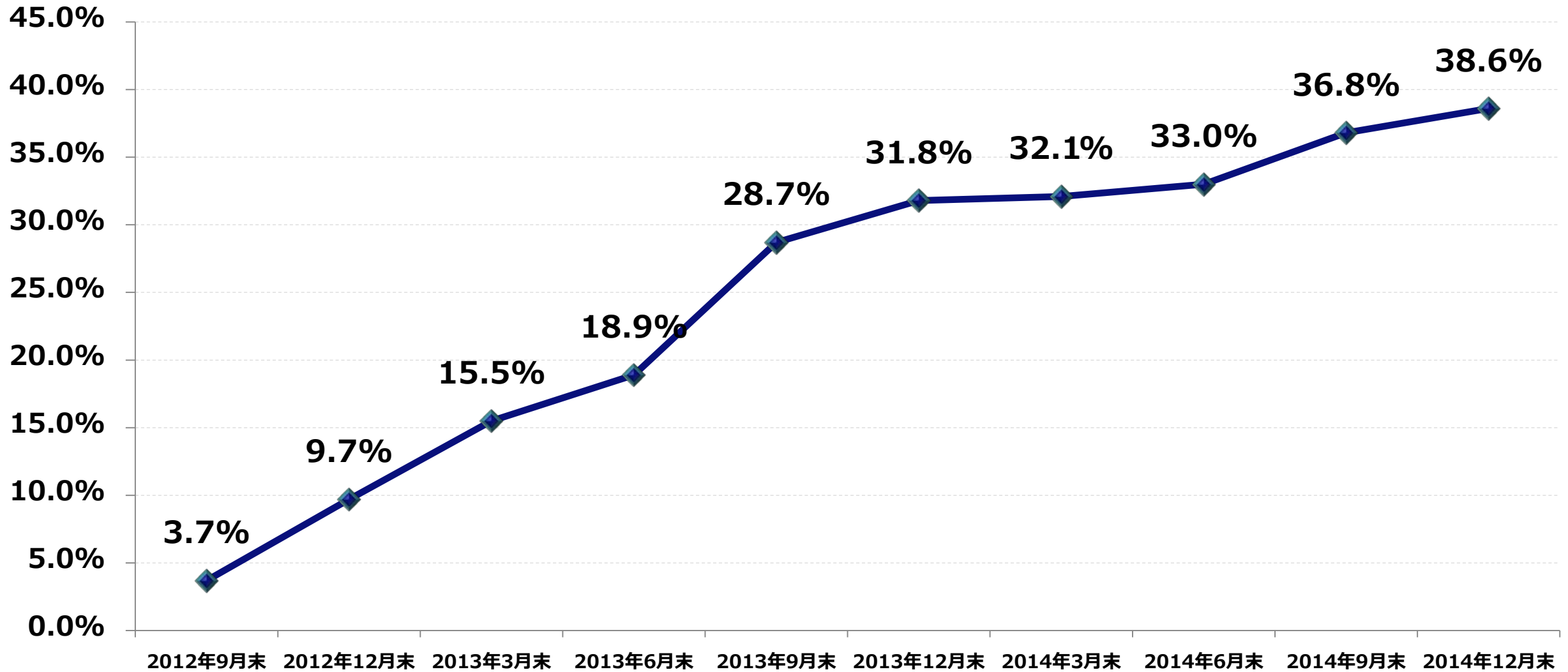
【参考資料】 地域別売上高 (映像)



【参考資料】 有利子負債



【参考資料】 自己資本比率



【参考資料】 中期経営計画（連結予測値）

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予測値)	2017年3月期 (予測値)
売上高	7,133億円	7,600億円	9,200億円
営業利益 (営業利益率)	734億円 10%	880億円 12%	1,430億円 16%
経常利益 (経常利益率)	509億円 7%	700億円 9%	1,250億円 14%
当期純利益 (当期純利益率)	136億円 2%	450億円 6%	850億円 9%

OLYMPUS

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。